



「ふれあいバス」へ

平成18年3月16日から名前が変わります

西伯病院へ

買い物へ

しあわせプールへ

とっとり花回廊へ

ふれあいバスに乗って

出かけてみませんか

南部町発足前の平成16年8月1日にスタートした循環バスが新たな名称「ふれあいバス」として、新たな路線も加えて平成18年3月16日生まれ変わります。

住民の必要不可欠な福祉生活交通

という認識にたち、運行開始をしてから1年間が経過し、四季を通じての年間の利用者の傾向を把握するとともに、住民の声を生かすため循環バスの見直しを行いました。

今回の見直しによる主な特徴点は次のとおりです。

- ① 名称の変更
- ② 新規路線の開設
- ③ 循環線の路線見直し
- ④ 運行時間の見直し
- ⑤ 運賃改正

見直しにあたっては、一般公募住民を含む、25名で組織された南部町生活交通対策検討委員会（松本十三穂会長）で検討が重ねられました。

現行の循環バス路線を生かしながら、新規路線を開設する方向で検討は進められ、福祉、生活などの充実を目指し「ふれあいバス」が誕生することになりました。

路線

① 循環線

（時計回り・反時計回り） 6便

： 経路を多少変更して運行

② 花回廊線

（法勝寺庁舎↔花回廊） 5便

： 上野、池野の通学バスとしても

運行

③ 伐株線

（丸合西伯店↔法勝寺庁舎↔安来市須山） 6便

： 武信、道河内、伐株の通学バス

としても運行

県境を越えて運行

④ 原工業団地線

（法勝寺庁舎↔丸合西伯） 5便

： 猪小路、北方の通学バスとして

も運行

新運賃（改正のみ）

① 大人 150円

② ファミリー定期券

3ヶ月4500円

6ヶ月9000円

無料運行期間

3/16~3/31

ご利用ください



バスの中では
会話ははずみずみ。



毎朝通学で28名が乗車する清水川・フォレストタウンの停留所は子どもたちでにぎやかです。6年生の女の子は「バスの中で運転手さんや他のお客さんと話が出来て楽しいです。」とバス通学の話をしてくれました。座席が少ないのでちょっと不満という声もありましたが、好評です。

また、毎週金曜日には必ず循環バスを利用している白川定正さん夫婦（金田）は「西伯病院と買い物に利用しています。運転手さんと楽しく話をしながら乗っています。路線が増えたら利用される人ももっと増えるんじゃないでしょうか。」と話をされました。



広々とした車内でゆったり乗れます

ふれあいバスは…

みんなにやさしい

38人乗りの小型バスは車椅子仕様で障害者の方はもちろん、社内スペースも広く取っており、お年寄りの方、小さい子どもにもとっても親切。

* * * *

料金もうれしい

ふれあいバスはどこまで乗っても料金は同じ。日ノ丸バスでもご利用できるお得な回数券も用意してあります。新たに家族の誰でも利用できるファミリー定期券ができました。

* * * *

よくわかる

バスのボディカラーは、遠くからでもはつきりと良く目立つ萌黄色。見るだけで元気がでてくるような南部町の象徴です。

* * * *

車内が楽しい

ふれあいバスの運転手さんは安全運転がモットーの楽しい人ばかり。乗車中の会話が楽しいと評判です。

広い範囲を走ります

いままでより2・4倍長い距離を運行し、広範囲のみなさんに利用をさせていただき幅広いニーズにこたえます。

* * * *

より身近に

ふれあいバスの停留所は全部で165カ所。できるだけ多くの方の自宅近くに停まります。

* * * *

平成16年8月からの1年間で、1カ月平均乗車人数1,669人、1日当たり82・4人、1便当たり5・94人でした。当初の運行計画では1便当たり5人を試算しており、予想を上回る利用がありました。今回の既設路線の充実見直し、新規路線開拓によってさらに利用が増え、住民のみなさんに愛されるバスになるよう期待されます。

新しい時刻表については3月発行の「情報なんび」でお知らせします。なお、路線については20ページに載せていますのでごらん下さい。問い合わせ先

役場企画政策課 ☎ 66-3113

3 / 16 ~ 3 / 31
無料運行期間です。
ご利用ください。